



寄付金活用による返却事業再開について（2021年7月より）

思い出の品通信3月号でお知らせしたとおり、市からの委託で実施してきた「陸前高田市思い出の品（震災拾得物返還促進事業）」は、2021年3月をもって終了いたしました。しかし、活動の継続を望む多くの声があることから、この度、「思い出の品」の活動を行ってきた三陸アーカイブ減災センターは、ご支援いただいた寄付金を主たる財源として活動を継続することといたしました。



遺影がない、親の写真が全てない、ご自身や子どもの昔の写真がない、震災後に生まれた子どもに見せる祖父母の写真がないなど理由は様々ですが、多くの方が未だに「思い出の品」を探されています。なかには、亡くなられた方の唯一のものをずっと探している人もいます。

また、未だ震災に向き合うことが辛くて返却会などに足を運ぶことができない人、思い出の品や遺品等を探したり見たりすることが辛い人もおられる他、探し始めても確認する量が多すぎて時間が足りない人、遠方等で長期間探す時間が取れない人も少なくなく、返却活動の継続的な取り組みを望む声が多く届いています。本団体が行ったアンケート調査では、お答えいただいた人（調査対象：思い出の品を探されている方148名）の95%が継続的な取り組みを望んでいます。

返却されず、思い出の品として残っている写真に写っている人の数は、陸前高田市の人口の10倍以上であり、継続的に探すことができれば見つけられる方は多くおられます。「向き合うことができるようになった時に探せる環境を残してほしい」「当時の子どもたちが大人になるまで残してほしい」「唯一のものを一つでも見つけることができるまで探させてほしい」などの多くのニーズにお応えしていくためにも、私たちは、希望される方がいる限り、思い出の品を返却する取り組みを続けていく覚悟です。

寄付金を中心とした自主財源による活動継続は大きなチャレンジとなりますが、応援していただく多くの方々に支えていただきながら、活動を継続して参ります。今後とも、「思い出の品」の活動を行う三陸アーカイブ減災センターの活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2021年7月

一般社団法人 三陸アーカイブ減災センター
代表理事 秋山 真理

マンスリーサポーターになってくださる最初の100名を募集中！

三陸アーカイブ減災センターは、「災害時に保管されている思い出の写真や物品が、希望する全ての人（将来を含む）に返却される社会の実現」を目指して、陸前高田市を主な拠点とした活動している非営利活動団体です。

当センターでは、毎月の寄付者であるマンスリーサポーターの最初の100人になってくださる方を募集しています。当センターの思い出の品の返却事業等の活動は皆さまからの寄付に支えられており、一人ひとりのご支援が、思い出の品を探す方々に笑顔を届ける大きな力となります。その人にとっての「唯一のもの」がお手元に返っていくことができるようにご支援をよろしくお願いいたします。

ご協力いただける方は、本団体ホームページ又はFAX・お電話にてお申込みください。
※一般の寄付も受け付けています。まずは、お問い合わせください。



毎月1,000円で

思い出の品を探す人のための広報紙を
60世帯/年に
お届けすることができます



毎月1,500円で

思い出の写真を探している人
72人/年に
大切な写真を届けられます



毎月3,000円で

市内・内陸での出張返却会が
年1回開催できます

FAX 0192-22-8502

下記にご記入のうえ、このままFAXにて送信してください。
申込用紙等を送らせていただきます。

お名前
ご住所 〒
☎
メール

一般社団法人 三陸アーカイブ減災センター 電話:0192-47-4848

〒029-2203 陸前高田市竹駒町字館44 旧市立図書館事務所1階

ホームページ <https://sanriku-archive.org/> 思い出の品 <http://www.shinsai-archive.org/>メール（寄付のお問い合わせ） donate@sanriku-archive.org
（その他のお問い合わせ） info@shinsai-archive.org

写真にお心当たりがありましたら、ご連絡ください



*市との取り決めにより、人物が特定できる写真の掲載はできないことになりました。今後は人物以外の写真、物品の情報等を掲載していく予定です。

「思い出の品」返却について

思い出の品の閲覧・返却は、下記のとおりです。

【常設会場】陸前高田市竹駒字館 44 旧市立図書館事務所 1 階（竹駒コミセン右奥のプレハブ）

*時 間：10 時～17 時

*休館日：毎月 2 と 3 がつく日（2 日、3 日、12 日、13 日、22 日、23 日）と 25 日（アバッセたかた返却会）、その他出張返却会の開催日（随時お知らせします）

※遠方からお越しの方で休館日に当たってしまう方は、どうぞお気軽にご相談ください。

スタッフからの 現場レポート



（写真はイメージです）

現在陸前高田市の近くに住む A さん（40 歳代、女性）。高田町で被災しましたが、普段は一般の会社の事務をなさっていらっしゃるとのこと。

初めて見にいらしたとのことで、「思い出の品が見られる場所があることは知っていたが、まだ写真を見る気持ちになれず、ずっと来ることができなかった」と話されていました。

写真につながる情報をいただきながら一緒に探していると、短い時間で小さな頃のご自身とお兄さん、お父さんの写真を見つけることができ、写真の原本のほか、ご兄弟にもお渡しいただけるということで、プリントも数多くお持ち帰りになりました。

まだあるかもしれないとして「また来ます」と笑顔で帰られました。

震災前に市広報の方が撮影された写真から、かつての高田の原風景を選んで、毎月少しずつご紹介していきます。同時に、竹駒の常設会場、出張展示会・返却会においても、順次ご覧いただける写真を整理し増やしていく予定です（ここでのご紹介はごく一部です）。



なお、市広報の写真は、ご希望に応じてフィルムメーカーによるプリント（L判～2L判）、オールデコ（木枠付のパネル）を私的利用に限り実費にて承ることができます（後日引き渡し）。また、他の方からお預かりしている震災前の写真については、順次撮影者のご意向に応じて対応させていただきます。